

# 1液ルーフ 低温用硬化促進剤

※シリコンルーフII、1液ファイン4Fルーフにのみご使用頂けます。



## 特長

### 1. 低温時期のブラッシングリスク低減

添加後の強力な硬化促進性により、低温時 (5°C~15°C) のブラッシングリスクに効果があります。

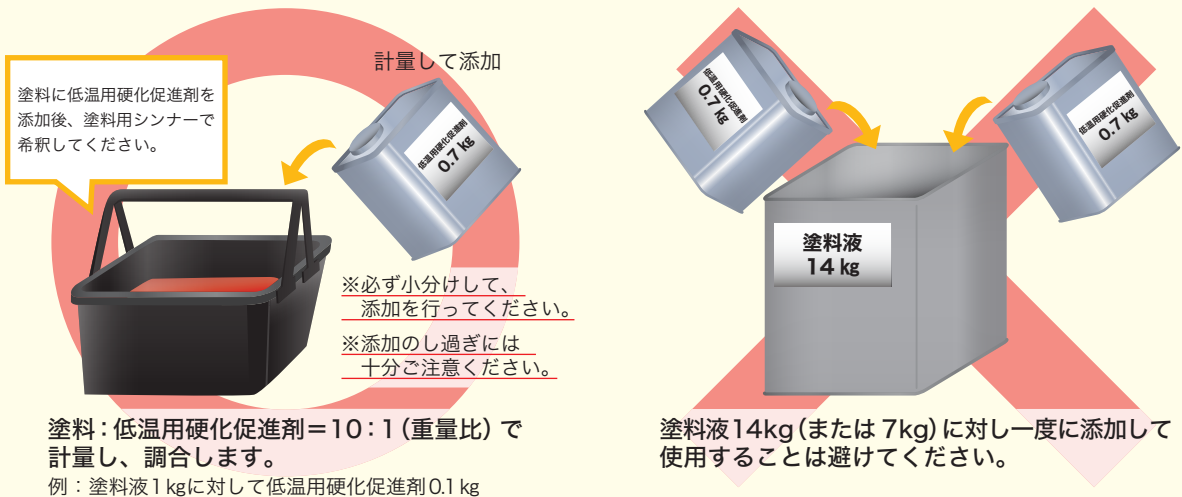
### 2. 施工途中に添加しての塗り継ぎOK

添加による「光沢」、「色相」、「耐候性」などの塗膜性能は変わりませんので、施工途中に添加しての塗り継ぎも可能です。

## 使用方法

シリコンルーフII、1液ファイン4Fルーフに対して「塗料:低温用硬化促進剤=10:1(重量比)」で混合し、十分にかくはんしてください。

添加後、すぐに塗料の硬化反応が始まりますので、**1時間以内**で使い切れる程度の量を調べてご使用ください。(塗料に硬化促進剤を添加後、塗料用シンナーで希釈してください。)



## 荷姿

0.7 kg (缶)

## 添加後の乾燥時間

14 kg に対しては 2 缶分  
7 kg に対しては 1 缶分 ] が規定量です。

ただし、添加後すぐに塗料の硬化反応が始まりますので、必ず小分けして添加を行ってください。

塗装場所の気温	5~15°C
ポットライフ	1時間以内
塗り重ね乾燥	4時間以上

※気温5°C未満、15°C以上の時は使用しないでください。  
気温が高いと短時間で塗料粘度が上昇して作業性に影響を及ぼします。

性能表

試験項目	規格	性能
透明性	無色または微黄色透明であること。	合格

・製品安全に関する詳細な内容については、安全データシート（SDS）をご参照ください。

**施工上の要点・注意事項**（詳細な内容については、各製品の製品使用説明書などでご確認ください。）

1. 本硬化促進剤は、塗料に添加して使用するものであるため、単独では塗装できません。
2. 本硬化促進剤は、シリコンルーフII、1液ファイン4ルーフ専用です。ほかの塗料には使用できません。
3. 「塗料：硬化促進剤＝10：1（重量比）」で混合し、十分にかくはんしてください。添加量が規定量未満の場合、期待性能を発揮できないおそれがあります。また、添加量が規定量を超過する場合、塗料粘度が短時間で上昇して作業性に影響を及ぼすおそれがあります。
4. 添加後、すぐに塗料の硬化反応が始まりますので、1時間以内で使い切れる程度の量を調整してご使用ください。
5. 塗料に硬化促進剤を添加後、塗料用シンナーで希釈してください。
6. 本硬化促進剤は気温が5℃～15℃の低温用です。気温が高いと短時間で塗料粘度が上昇して作業性に影響を及ぼします。
7. 本硬化促進剤は湿気で硬化しますので密栓して貯蔵してください。
8. そのほかの注意事項については、各適用塗料の製品使用説明書をご参照ください。
9. 水洗い後は、1日以上乾燥させてください。また素材表面が雨、露などで濡れている場合は、十分に乾燥するまで塗装しないでください。（光沢低下、膨れ、割れ、はく離の原因となります。）
10. 下地調整が不十分だと塗膜はく離の原因となったり、光沢が出ないなどの仕上がり不良になる場合があります。塗り替えでは必ず素地に近づけ9.8MPa（＝100kgf/m<sup>2</sup>）以上の高圧水洗が金属ワイヤブラシなどによるケレン後、水洗いを実施し、付着物、劣化塗膜や基材の劣化物を十分に除去してください。
11. 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
12. 塗り重ねは規定の塗り重ね乾燥時間をまもってください。硬化が不十分な場合は、塗料用シンナーで再溶解するおそれがあります。
13. トタン素地が見えている所、さびの生じている所はケレン後、必ずさび止め塗料を塗装してください。使用できるさび止め塗料については、各塗装仕様書をご参照ください。
14. ごみ・ほこり・砂・油・樹液などは、塗装前に水洗い、溶剤拭きなどで十分に除去し、乾燥した清浄な面にしてください。
15. 水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
16. 旧塗膜に発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこすおそれがあります。
17. 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
18. 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行い、火気厳禁にしてください。
19. 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
20. 薄めすぎは隠ぺい力不足、仕上がり不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
21. 汚れ、さびなどにより補修塗りが必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法などの塗装条件を同一にしてください。
22. 開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密栓してから冷暗所で保存し、速やかに使い切ってください。
23. 塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
24. 製品の安全に関する詳細な内容については、安全データシート（SDS）をご参照ください。

**安全衛生上の注意事項（1液ルーフ低温用硬化促進剤）**

1. 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
  2. 容器を密閉しておくこと。
  3. 容器を接地しアースをすること。
  4. 防爆型の電気機器 / 換気装置 / 照明機器を使用すること。
  5. 火花を発生させない工具を使用すること。
  6. 静電気放電に対する措置を講ずること。
  7. 粉じん / 煙 / ガス / ミスト / 蒸気 / スプレーを吸入しないこと。
  8. 取扱い後は、手洗いおよびうがいを十分にすること。
  9. この製品を使用するときに、飲食または喫煙をしないこと。
  10. 環境への放出を避けること。
  11. 保護手袋 / 保護衣 / 保護眼鏡 / 保護面を着用すること。
  12. 本来の用途以外に使用しないこと。
  13. 気分が悪い時は、医師の診察 / 手当を受けること。
  14. 口をすすぐこと。
  15. ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
  16. 火災の場合：消火するために適切な手段を使用すること。
  17. 皮膚又は髪に付着した場合：直ちに、汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。
  18. 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
  19. 容器からこぼれた時には、布で拭き取って水を張った容器に保管すること。
  20. 旋錠して保管すること。
  21. 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
  22. 直射日光や水濡れは厳禁。
  23. 塗料等の缶の積み重ねは3段までとすること。
  24. 内容物 / 容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って産業廃棄物として廃棄すること。
  25. 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時には、産業廃棄物として処理すること。容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがあるため、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼すること。
- ※上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。  
 ■詳細な内容、表示以外の製品については、安全データシート（SDS）をご参照ください。  
 ■本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

警告



危険有害性情報

引火性液体及び蒸気 / 臓器の障害のおそれ / 長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害のおそれ / 長期継続的影響によって水生生物に有害

**日本ペイント株式会社**

北海道支店 ☎011-370-3101 近畿支店 ☎06-6455-9608  
 東北支店 ☎022-232-6712 中国支店 ☎082-281-2180  
 関東支店 ☎03-5479-3614 四国支店 ☎0877-56-2346  
 北関東信越支店 ☎03-5479-3614 九州支店 ☎092-751-9861  
 中部支店 ☎052-461-1960

※本カタログの内容については予告なしに変更する場合がございますのであらかじめご了承ください。  
 ※本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。  
 ※© Copyright 2022 NIPPON PAINT Co., Ltd All rights reserved.  
 ●日本ペイントホームページ <http://www.nipponpaint.co.jp/>

カタログNo.  
NP-Q149

OM220203T  
2022年2月現在